

南高不落



北海道南幌高等学校

空知郡南幌町元町3丁目2番1号

電話 011-378-2248 F A X 011-378-2629

<http://www.nanporo.hokkaido-c.ed.jp>

“親の言葉は羅針盤” ～子どもはちゃんと聞いている～

校長 黒田 治

近年、毎年のように自然災害に見舞われ、昨年度は“胆振東部大震災”でブラックアウトを経験し、今年度は無事に卒業式を迎えて卒業生を送り出そうとしていた矢先に、新型コロナウイルスによる“非常事態宣言”で全道的に学校が長期に渡る休校を否応なしにせざるを得ない状況に追い込まれました。年度の締めくくりをこのような形で終えようとしていることに残念でありませんが、生徒たちにはこのような状況下の中で、自分はどのような行動や振る舞いをすれば良いのかを、しっかり考えて行動する良い勉強の機会が与えられと思って過ごしてもらいたいと思います。

さて、3年生が卒業して在校生の皆さんは4月から学年が1つ進みますが、それだけ自分の卒業が近づいていることを意味します。卒業後の自分の将来をイメージして、今の自分を振り返り、4月からの新しい自分へのスイッチの切り替えをする時が来ています。

生徒の皆さんの将来に、夢や希望を抱いているのは生徒の皆さんだけではありません。これまで10数年間育ててくれたお父さんやお母さんが、一番心配して期待しているのかも知れません。皆さんが生まれた時から現在まで、深い愛情と大きな期待を込めて一緒に生活しているのです。親として常に健康と幸せを願わない日はないでしょう。そして、3年間だけ先生方もみんなの夢の実現に期待を込めてサポートしているのです。これからは、お父さんやお母さんの愛情や期待を裏切ることなく、しっかりと応える努力をして自分の夢をつかみ取り、親孝行して欲しいと切に願っています。

また、「親の思い子知らず」とよく言いますが、保護者の皆様にはお子様の生育歴における性格や適性、特技や好き嫌いなど全て知っている身近な人として、お子様とこれまで以上に夢や希望、現実や将来の厳しさなどについて、いっぱい語って親の愛情をいろいろな形で伝えて欲しいと思います。子どもたちは夢と現実の狭間で揺れ動いています。そんな時、愛情に裏打ちされた親の言葉は、何物にも代えがたい力として、子どもたちの羅針盤となり自信を持って期待に応えようと努力できるものと確信しておりますので、ぜひ、この機会に親子で自分の言葉で語り合っ欲しいと思っています。

保護者の皆様には、平成31年から令和2年に渡り、1年間本当にお世話になりました。本校の教育活動は、教員も生徒数も少なく保護者の支えがあってこそ、私たち教員は生徒たちへの教育活動を自信と確信を持って当ることができるのです。この信頼関係を築くことで生徒たちは安心して学校に通い、楽しい高校生活と将来への夢の実現に繋がるもの信じております。現在は、登校ができない状況にあり、先が見通せない時期ではありますが、1日も早く安全で安心して登校できる状況となり、新年度を迎える始業式の日には、生徒全員が元気に笑顔で登校してくれることを願っています。

来年度は新しいスタッフを迎えて、先生方もこの状況から早く脱却して生徒たちを迎え入れようと準備を進めております。今年度以上に新年度も変わらぬ御理解と御協力、そして御支援のほど宜しくお願い致します。

4月 行事予定

(変更の場合があります)

4月 8日(水) 着任式・始業式・入学式
P T A総会
9日(木) H R役員選出
10日(金) 尿検査
13日(月) 身体測定、個人写真撮影
進路説明会(3年)
14日(火) 進路希望調査
15日(水) 生徒会一斉委員会

16日(木) 学力テスト(2年)
17日(金) 基礎力診断テスト(1, 2年)
20日(月) 3年進路相談週間(～24日)
23日(木) クレペリン検査(3年)・尿検査(2次)
24日(金) 胸部X線・心電図検査(1年)
28日(火) 進路対策演習(3年)
29日(水) 昭和の日



1年間を振り返って ～担任からのメッセージ～

1年担任 水野 寛之

南幌高校に赴任して1年。転勤する度に感じるのですが、最初の1年はとても早く過ぎていきます。それは新しい環境では日々何かしらの刺激があって緊張状態が継続し、時の流れに意識が向かないからです。生徒の皆さんも同じように、初めてのことでだらけの高校生活を一気に駆け抜けて現在に至っているのではないのでしょうか。

次年度は環境への慣れと共に少し余裕が出てくるはず。お互い今年度できなかったことに挑戦したいですね。

2年担任 伊藤 泰生

進級おめでとう。中堅学年としての2年生が終了しました。特に昨年11月に行われた見学旅行では、教室の机上ではわからない実際の建物を見たり、関西圏の文化に触れることができました。この旅を通じて皆はひとまわり成長したと確信します。

新年度の4月からは、自己の進路に向かって具体的な行動が求められます。人任せにせず、自らが主体的に取り組んでくれる事を期待します。

私たちも後押しします。



〇●〇 お世話になりました 〇●〇



〇黒田 治 校長 [定年退職]

南幌町の小さな学校に赴任して2年が経ち、この地で教員としての定年を迎え退職する時が刻々と迫ってきています。このおおらかな町の風土に恵まれて過ごした2年間は生涯忘れることのできない思い出深いものになりました。学校では教育に熱心な先生方と素直でシャイで優しい生徒たちに囲まれ、保護者の皆様や地域の方々に支えられて今の職を終えようとしています。出会った方々に感謝、感謝です。ありがとうございました。



〇石谷 正 教頭 [転出先：北海道旭川商業高等学校]

わずか1年間という短い間でしたが、生徒諸君をはじめ、保護者や地域の方々、同窓会の皆様には大変お世話になりました。地域の高等学校として、学校祭をはじめとした各種行事には多くの方々のご支援と御協力のおかげで無事成功することができました。あと3年後に閉校となりますが、この学校で勤務できたことやを誇りとして、次の勤務先でも頑張りたいと思います。

1年間ありがとうございました。

〇佐藤寿成 教諭 [転出先：北海道札幌月寒高等学校]

この10年間、子供たちには、社会に出たときに何か武器になるようなもの、つまり自信、誇れること、特技や経験などを一つでいいから身に付けてもらいたいと思い接していました。それが十分できたかどうかは分かりませんが、3度の海外研修やバドミントン部での活動、英語検定に向けて学習したことなどが良い思い出です。

また、プライベートの面においても、町内の大勢の方との貴重な出会い、様々なイベントへの参加、子どもがお世話になった学校のことなど枚挙に暇がありません。南幌での経験を生かして、次の学校でも子どもたちのためにできる限りのことをしたいと思います。

〇長尾将仁 教諭 [再任用任期終了]

生徒は何のために学校に来るのでしょうか？何故勉強をしなければならないのですか？我々はどうして仕事をしなければならないのですか？結婚して子供を産み育て苦労してお金と時間をかけて子供達と向き合います。そんなこと考えたことありませんか？

私は思います。勉強は教養を身につけるため、学校は生きる力を養うため。勉強と努力をして仕事で自分の生きる活力となれば幸せな人生ですね。究極は勉強も、仕事も結婚も恋愛も自分が幸せになるためなのです。皆さんもたくさん幸せになって、できればその幸せを周りの人に少しでもお裾分けしてくれれば社会は楽しく生きられますよね。4年間ありがとうございました。

〇近藤典男 教諭 [定年退職]

近藤先生は1年間病気で休職されていました。この度、定年退職となりました。本校には9年間在職されました。ありがとうございました。

◆◆お知らせ◆◆

4月8日(水)は始業式(登校日)です！

4月8日(水)は着任式と始業式を行います。教室には通常通り8時25分までに登校してください。また、この日には新しい教科書等の販売をいたします。午前中で終わりますので、昼食は不要です。

★持ってくるもの ①休業中の課題 ②教科書の代金 ③新しい教科書を入れるカバンなど